



デジタルキーで生活を安全で快適に 社会実証でスマートシティ実現への可能性測る

市は、「スマートシティ化『コネクト』で推進」をテーマに株式会社ビットキー（東京都中央区）と連携し、利便性と安全性の高いまちづくりの実現に向け、令和4年1月からスマートフォンでの解錠などが可能なデジタルキーを活用した社会実証に取り組む。第1弾として市民を対象に玄関ドア等のデジタルキー化に係るモニターを募集するほか、第2弾には市内保育所・幼稚園の入り口やマンションのオートロックドアでのスマートフォンまたは顔認証によるロック解除の実証を検討。市担当者は「デジタルキーを活用した取り組みを市内の複数の場面で展開することで、スマートシティの体感・推進を図るとともに、施策展開の可能性を検証したい」と話す。12月3日(金)午後3時から市役所別館4階 市長応接室で同社との懇談を実施予定。

★株式会社ビットキーは東京に本社を置く、デジタルコネクトプラットフォームの企画・開発などを行う会社。市とは令和3年9月に協定を締結。テクノロジーの力であらゆるものを安全で便利に気持ちよく「つなげる」ことを目標に掲げ、システム毎の分断やリアルとデジタルの分断をサービスでコネクトできればと考えている。

★実証に使用するデジタルキーは(株)ビットキーのスマートロック bitlock（ビットロック）シリーズ。既存の玄関ドア等の内側にあるサムターンロックに取り付ける仕様で、電池式のため特別な工事は不要。施錠・解錠などはスマートフォンの専用アプリを使う。

★市民モニターの実施台数は50台、無料利用期間は6か月間。アンケートの回答や利用インタビューを条件に募集を行う。

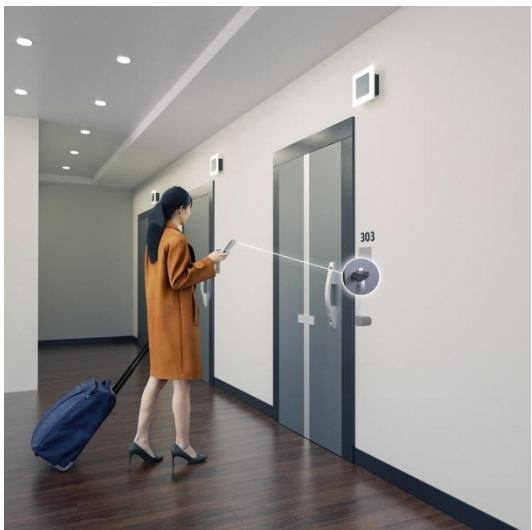
★物理的な鍵の管理や受け渡しをする必要がなく、アプリ1つで様々な場面での解錠ができるため、スムーズかつ安全性が高い施錠・解錠環境を作ることが可能に。

【サービスの特徴】

- ・デジタル上で使用可能日時を指定したカギを作製・共有可能。複製の心配や対面で手渡す面倒なく親戚や友人などにカギを送り、入室してもらうことができる。
- ・開け締め履歴はアプリ内で確認可能。外出先でも家族の帰宅状況がわかるほか、離れて住む家族の在宅確認などにも活用できる。
- ・自動ロック機能付きで、締め忘れを防止。

★市担当者は「本取り組みを通じて、安心かつ快適な生活に繋がる枚方市のスマートシティ化をさらに進めたい」と話す。

＜デジタルキーで変わる生活＞（「bitlock」使用イメージ）



▲玄関ドアをスマホで解錠。



▲製品使用イメージ。ドア内側のサムターンロックに取り付ける。



▲解錠時のアプリ画面。



▲開け締め履歴も確認できる。

＜お問い合わせ＞ 企画政策室 ☎072-841-1254、ファクス 072-841-3039